

千葉県ノリ養殖業生産振興計画の概要

策定の趣旨：

地区の特性を十分に活かした振興を図ることで、千葉県ノリ養殖業の維持・発展を実現していく

生産振興計画の策定：

自然的・社会的条件が異なる地区別（富津・木更津・千葉北部）の「ノリ養殖業生産振興計画」を策定
〔東京湾内湾14漁協、県漁連、県漁業振興基金、県水産振興公社及び地元市と県が連携して策定〕

H35目標（県全体）

**1経営体当たりの
漁業所得10%向上
（260万円⇒286万円）**

生産振興計画の概要

地域特性

課題

振興方針・方策

富津地区（富津市，125経営体/H29）

- ✓ 富津岬の北側の海域は豊富な栄養塩に恵まれるが、北西風の影響から操業日数が限られる一方、南側の海域は静穏日が多く養殖管理が行き届くが、沖合水の影響を受けやすい
- ✓ 県内生産のうち、8割を占める主力産地
- ✓ 専門者が多く、生産規模も大きいですが、家族労働者のリタイアに伴う廃業が進行
- ✓ 一部で組合による受託加工施設が整備されているが、各生産者の加工施設は老朽化が進行

- ① H15年漁期以降は生産量の年変動が大きく不安定で、特にH27、28漁期は2年連続の不作（H29漁期も低調）
・沖合水等の影響によるノリ葉体の生長不良
・クロダイ等の魚類による食害の確認
- ② 1経営体当たりの生産規模は頭打ちになり、収益向上に向けた効率的な生産体制が必要
- ③ 頻繁な網交換を行い、高品質な柔らかいノリを漁期を通じて生産しているが、年明け後は贈答用の需要が減少

主力産地としての経営体の生産力強化と生産の安定・増産

<生産の安定化と向上>

- ① 不作原因の早急な究明、食害被害の詳細把握と効果的な対策の実施
- ② 海上作業の生産性向上（高速浸漬処理船*の導入、ノリ網の共同管理体制づくり）

<収益力の向上>

- ① ノリ共同加工施設の整備による品質向上とコスト削減
- ② 生産時期ごとの養殖手法の最適化
〔需要に応じた品質のノリを生産し、収益力の維持・向上を図る。〕

木更津地区（木更津市，53経営体/H29）

- ✓ 小櫃川からの出水により環境変動が大きい
- ✓ 北西風の影響等により操業日数が限られる
- ✓ 貝類漁業との複合経営で生産規模は小さい
- ✓ 干潟漁場での支柱柵養殖が行われ、青混ぜノリが地域特産品として高評価

- ① 高齢生産者の廃業が続き、地域ノリ養殖の存続が危ぶまれる
- ② 個々の生産者の加工施設は老朽化が著しく養殖継続のネックになっている
- ③ 青混ぜノリの原藻となるアオノリ類の天然発生は多いが、生産が不安定
- ④ 浮き流し漁場における年内生産力の低下

干潟漁場での養殖の推進と青混ぜノリの増産

<生産の安定化と向上>

- ① 海況の変化により、近年、年内生産が比較的安定している干潟漁場での養殖の推進
- ② 海上作業の生産性向上（高速浸漬処理船*の導入等）
- ③ 組合自営でのノリ養殖の取組による新規着業者の受入等、将来を見据えた体制づくりの推進

<収益力の向上>

- ① 青混ぜノリの安定生産に向けた技術開発と普及
- ② 広域加工施設の整備による品質向上とコスト削減

千葉北部地区（市川市・船橋市，12経営体/H29）

- ✓ 江戸川等から豊富な栄養塩の供給
- ✓ 個人経営体のほか組織的な大規模経営まで様々
- ✓ 1経営体当たりの生産規模は増加傾向
- ✓ 根強い地場需要に支えられた産地

- ① 江戸川からの出水による塩分低下や沖合底層の暖水波及により海況変動が大きい
- ② ノリ加工場の立地（都市部）から騒音、排気等の対策が必要（現在、漁港内に加工用地がなく、移転困難）

生産の安定化と三番瀬ブランドの活用

- ① 水総研と生産者が連携して検討・開発を進めた「漁場環境の変動パターンに応じた最適な漁場利用手法」を活用した取組を展開
- ② 漁港区域への加工施設の集約化、共同化の検討
- ③ 地場需要への対応と三番瀬ブランドを活用した産地づくり

販売対策

「千葉県海苔販売促進基本方針」に基づく販売促進

*高速浸漬処理船 … ノリ網に混ざる雑草の除去やノリ芽の疾病予防のため、ノリ網を効率よく有機酸に浸漬できる作業船